武　一　中

令和５年１２月１１日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ５－１３号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

「共振して同期を目指せ！」の感想

校　長　　中嶋　建一郎

12/5 朝礼の話の感想の一部を紹介します。115 人が書いてくれました。最初に取り上げた感想はとても大切なことを書いてくれているので読んでみてください。日本人は「同調圧力」を受けやすいと言われています。同調圧力とは、クラスなどの集団で、何かを決めるときに、少数意見の人に対して、暗黙のうちに多数意見に合わせるように仕向けることを指します。私は、何でも皆が合わせることが良いとは考えていません。一人一人の思いや考えが尊重されるべきです。本来、共振は強制されて起こるものではなく、自発的に起こるものだと考えています。そこは押さえておいてください。

○「悪いことも共振と同期に当てはまる」というお言葉にとても共感しました。日本は出る杭は打たれるという言葉があるように、共振と同期を強要する社会だと思います。その結果、「意見を言わない」という好ましくない風潮が広がっています。共振と同期を乱すことはときには必要だと思いました。

●クラスで少しでもポジティブな雰囲気を持つ人がいると、クラス全体の雰囲気もそれにつれて良くなることができるのだと思った。逆に、授業妨害のような行動を取る人がいると、みんなのやる気があったとしても腐ってしまうのだと思った。良くも悪くもクラスは団体戦で、一人ひとりの行動が思っているよりもクラスカラーを決めてしまうのだということを意識して行動すべきだと思った。

○共振と同期をして、合唱コンクールやこれからのいろいろなできごとに向けてより良いクラスを作っていきたいと思いました。だけど、悪い方向に同期をしてしまうと、いまよりも悪いクラスになってしまうので「悪いことは悪い」と言える【伝説の】クラスになりたいと思います。

●共振や同期は、確かにいい面も有るが、悪い面での共振や同期はしたくないなと思った。例えば、他人に合わせているだけでは何も変わらない。

○「共振」と「同期」という状況を今日初めて見たのだが、違うものが一緒に動いたり、バラバラだったものが最終的には同じ動きになっていたりして、すごいなと思った。また、今回の校長先生の人間関係やクラスにおいての「共振」と「同期」も「確かに」と思った。今年、入学して中学生最初のクラスで、みんな緊張していたこともあってか授業中に揃わなかったり動きもバラバラだったりした。しかし、体育祭のいかだ流しを通してみんなで全力で取り組んだ結果、団結力が高まった。それは、体育祭実行委員の人や先生の体育祭に対する「熱意」が共振し、最終的にみんなで団結し同期したからだと、今回のお話で改めて思った。

●一人が行動を起こせば、それが少しずつ広がっていき(共振)、最後には全員が揃う形になる(同期)。良くも悪くも通る道理にとても共感した。今、クラスが、学年が、学校全体が一番求められている形だと感じた。自分が悪い意味での共振は起こさず、いい意味での共振として行動を起こし、皆を同じ方向に向けることができる人になろう、と思った。

○同期って良くも悪くも周りに流されることで、自分は流されるのが嫌いなのであんま好きじゃない。

●共振と同期の話を聞いて、共感した。一人からだんだん波が伝わっていき、クラスが団結するということは行事などで見たことがあった。また、このように物理現象を人の団結などに当てはめられるものはたくさんあると思った。今、受験が近づいているが、全員が同期して、最後まで頑張りたいと思う。

○一人で勉強することが多く、受験は団体戦という言葉に共感できていなかったのですが、周りの勉強熱心な人に「同期」することで自分も同じ勢いで勉強できると思ったので、そんな人を見つけたり、自分がそういう人になって周りと一緒に頑張りたいと思います。

●動画で話の導入に入るのが新鮮で面白くわかりやすかったです。共鳴と同期が人にもあるというお話はすごく共感できて小学校の頃、先生が怒ってクラス全体が暗くなっていたとき性格の明るい生徒がいつもみたいに明るく振る舞っているとだんだん周りも明るくなっていってとても不思議に思ったのを覚えています。受験期でメンタルが不安定なこの時期だから人との感情の共鳴というのを大事にしていきたいです。―

○二年生の合唱コンクール練習で、実際に練習を重ねていくほど動画のメトロノームのように足並みがそろっていったことを思い出しました。また私は、これからマイナスな意見が多い状況でも本当に正しいと思うプラスの意見を持ち続け、少しでも良い雰囲気を広げていけるような人になりたいと思いました。

●ただクラスをまとめるだけでなく、よりよい共振とは何かを考える必要があると思った。クラス共同での行事やイベントが共振や同期の秘訣だと思った。

○科学の知識を生活に例えられていて面白かった。私達のクラスは授業の発言が少なかったり、盛り上がりが欠けていると感じる時があるので一人二人と楽しい雰囲気をつくれるようにしたいと思った。

●周りによって頑張るのも良いと思ったが、自分の力で変えてみたいと思った。

○特に同期の話が心に残った。映像で、メトロノームがバラバラにスタートする。はじめは音が不規則だったのがいつの間にか揃い始めて最後には全く同じ動きをする。今はそれぞれの進路へ向けて別の方向を向いている私達が、全員が進路を決め、このメトロノームのようにクラス一丸、同じ方向を向いて合唱コンクールにのぞめたら良い。そしてその先、卒業式を学年全員で団結して成功させたい。そのためには、いま一人ひとりが頑張ることも大切だと考えた。

＊共振や同期は簡単ではありません。でもそれを目指すことが大切だと思っています。